



太田地域でプラスチック製品の成型加工をしているのが株式会社加藤プラスチック工業（加藤幸徳代表取締役）です。

同社は1991（平成3）年の創業。家庭用ゲーム機やコンパクトディスクプレーヤーの部品など、顧客ニーズの移り変わりに対応しながら、さまざまなプラスチック製品を製造してきました。

現在、同社の主力製品は化粧品容器で、そのキャップを射出成型する技術が同社の強み。化粧品容器のキャップは、中身の粉末や液体の化粧品を外気から守る機能面はもちろん、消費者に与える印象を左右する外観の美しさも重要視されます。同社は、成



高難度の部品製造に取り組む

（株）加藤プラスチック工業〔太田〕

業種／プラスチック製品の成型加工

従業員数／8人

※今回の案内人は代表取締役の加藤幸徳さんです。

形品表面に割れ目が入らず、ゲート（樹脂注入口）痕も残らない特殊な形状で、キャップを回転させながら取り出す「ネジ抜き金型」を採用。継続的に運用するためには複雑な加工条件の設定や熟練した技術が必要とされる金型で、対応できる企業は国内に数社しかないそうです。

主な取引先である大手化粧品会社が、中国へ事業進出したことに伴う関連部品の需要拡大に対応するため、国の補助制度を活用し、製造機器の増設を進めている同社。創業以来積み重ねてきたノウハウと最新鋭の製造機器で、顧客ニーズに対応したもののづくりを続けています。